

4/29
(水・祝)

三木キャンパス 授業公開スケジュール

時間割表

1 限目 9:00～ 10:30	『仕事とキャリア形成Ⅰ』 人間科学部 経営学科 齋藤 勝洋	『仕事とキャリア形成Ⅰ』 人間科学部 経営学科 河内山 潔	『人間学Ⅰ』 共通教育科目 濱名学長 / 濱名学部長 / 他	
	『知的障害教育総論』 人間科学部 人間心理学科 梶 正義			
2 限目 10:40～ 12:10	『ファイナンス』 人間科学部 経営学科 浮田 泉	『ビジネス統計学』 人間科学部 経営学科 藤木 清	『フードビジネス特論』 人間科学部 経営学科 松原 茂仁	『セレモニー産業特論』 人間科学部 経営学科 河内山 潔
	『公共サービス特論』 人間科学部 経営学科 松本 茂樹	『専門演習Ⅲ』 人間科学部 人間心理学科 佐藤 広志 / 他	『基礎看護技術Ⅲ』 保健医療学部 看護学科 蛭子 / 山口 / 神宮司	
3 限目 13:10～ 14:40	『ファイナンス』 人間科学部 経営学科 浮田 泉	『ビジネス統計学』 人間科学部 経営学科 藤木 清	『顧客満足論』 人間科学部 経営学科 松原 茂仁	
	『専門演習Ⅰ』 人間科学部 人間心理学科 太田学部長 / 他			

- 人間科学部 人間心理学科
- 人間科学部 経営学科
- 保健医療学部 看護学科
- 共通教育科目



■1限

時限	学部・学科	科目名	担当者	授業概要
1限	人間科学部 経営学科	仕事とキャリア形成 I	齋藤勝洋	この授業では個人ワークやグループワークを用いて、職業や仕事に関する知識を広げていくとともに、自分の性格や価値観を客観的に把握して将来のキャリア像を考え、具体的な計画を立てていきます。 この授業は2部構成になっています。第1部では、みなさんの視野をひろげたり、視点を変えたり、様々な角度から社会や会社、仕事のことを見ていきます。第2部では、自分の特性・価値観などに気づき、その特性・価値観を生かせる職業は何か、その仕事をするためには今後どのような知識や技能を身につけなければならないのかを考え、短期的・中期的な計画を作成します。
1限	人間科学部 経営学科	仕事とキャリア形成 I	河内山潔	この授業では個人ワークやグループワークを用いて、職業や仕事に関する知識を広げていくとともに、自分の性格や価値観を客観的に把握して将来のキャリア像を考え、具体的な計画を立てていきます。 この授業は2部構成になっています。第1部では、みなさんの視野をひろげたり、視点を変えたり、様々な角度から社会や会社、仕事のことを見ていきます。第2部では、自分の特性・価値観などに気づき、その特性・価値観を生かせる職業は何か、その仕事をするためには今後どのような知識や技能を身につけなければならないのかを考え、短期的・中期的な計画を作成します。
1限	共通教育	人間学 I	濱名学長 濱名学部長 他	<p><全体> 科学とは、本来「人間」の生活をよりよくするために発達してきた。本科目では、様々な学問(科学)分野から、「人間」に引き寄せて、ライフコースの長いスパンを見通して、自分の人生について主体的に考え、生き抜いていくために必要な「考える手がかり」を提起していく。本科目を通し、受講生が自分自身の人生観や世界観の確立にとって必要な知的刺激を受け、自分の生き方を考える自立した職業人になっていくことを期待している。 人間学では、大学での学びの基本を身につけるとともに、春・秋3本ずつ、年間を通じて6本のレポートを書く。一つ一つのテーマについて、自らの問題としてとらえ、しっかりと自分の意見を持ってほしい。 なお、この科目は、履修者を3つのグループに分け、3人の教員による輪講形式で進められるため、グループごとに受講順序が異なる。しかしどのような順序で学んでも、授業の進行には差し支えないよう配慮されている。</p> <p><平等・職業> 濱名 篤 「平等・職業」をテーマとして、「職業生活と社会的格差」というテーマで5回の授業を行う。 2014年の夏頃からフランスの経済学者トマ・ピケティの『21世紀の資本』という本が世界的話題を集めている。社会的格差の拡大のメカニズムと、格差の拡大が社会や経済に及ぼす深刻な影響を理解することがいかに重要であるかが再認識されてきている。地方と大都市、性別による格差、教育格差、職業による格差、雇用形態による格差など、日本においても他の社会と同様に様々な格差がある。 この5回の授業では、人間の一生のなかで大きなウェイトを持つ「職業」を通して、人間と社会の関わりを考えていく。日本は経済先進国としての豊かさを享受する一方で、2008年秋のリーマン・ショック以降、格差社会と呼ばれる貧富の差は拡大し社会階層間の不平等が顕在化してきている。また少子高齢社会への道を着実に歩みつつあり、すでに2006年からは人口も減少に転じており、世代間格差も拡大し、社会としての未来はバラ色には見えにくくなり、これまでの日本社会の「平等神話」は崩壊したといわれている。 こうした格差社会においては、若者にとって「働くことの意味」は見失われがちである。自らの人生の「幸せ」と職業との関係を考えることは、学生生活のうちから考え始めておく必要がある課題である。 豊かな社会に育った若者にとっては、1)フリーター等の正規雇用ではない人々やニートと呼ばれるいったん雇用・教育・職業訓練のすべての機会を失った人々と、多くの人が“当たり前”と思っている正規雇用との格差問題、2)男女共生と協働を家庭生活と職業生活の中でどのように実現していくのかという問題、増加する高齢者を社会的にどのように支えていくかという家族、企業、社会を通しての課題等、個人の生き方と職業との関わりをどう考えていくかが重要になっている。この講義では、職業、キャリア、家族、社会的格差、などをキーワードに、職業と社会的格差をめぐるこれらの諸問題を取り上げる。</p>
1限	人間科学部 人間心理学科	知的障害教育総論	梶正義	知的障害児の教育は、特別支援学校および小中学校の特別支援学級などで行われ、その際さまざまな指導内容・方法・指導形態で行われている。 本講義では、知的障害の概念、定義、歴史などをまず解説する。そして、知的障害児の教育について、学習指導要領や教育課程の編成に基づいた教科別・領域別の指導および領域・教科を合わせた指導(日常生活の指導、生活単元学習、作業学習、遊びの指導)などを概説する。また、指導・支援の核となる自立活動の考え方や個別的教育支援計画・個別の指導計画の作成についても説明する。 毎回、前回の講義の復習を行う。また、次回の講義内容を予告し、そのキーワードを示す。

■2限

時限	学部・学科	科目名	担当者	授業概要
2限	人間科学部 経営学科	ファイナンス	浮田泉	営利法人、非営利法人を問わず、事業を運営する上において、経営財務についての知識を欠くことはできません。経営財務を学ぶためには、まず、基本的な会計処理を学ぶ必要があります。この講義は、個人商店を中心とした会計情報の作成および、株式会社の特徴を理解します。その上で、会計原則や関連法規、資金調達の手法や企業評価等のファイナンスの基礎を学習します。
2限	人間科学部 経営学科	ビジネス統計学	藤木清	昨今、ビジネスの現場では、統計の読み方、および統計から事実を読み取ることが求められる。この授業では記述統計的分析手法を中心に学習したのち、実際にEXCELなどを用いて、データのまとめ方、読み取り方を習得する。さらに、実際に経済・経営に関連する統計データを用いて分析する方法を習得する。
2限	人間科学部 経営学科	フードビジネス特論	松原茂仁	フードビジネスについて経営学の理論と事例を通して学びます。特に食の持続可能性を考えた第一次産業の課題について、ワークショップやグループワークによりアウトプットを出すことでフードビジネスを学びます。
2限	人間科学部 経営学科	セレモニー産業特論	河内山潔	セレモニー産業(冠婚葬祭業)の現場での様々な課題について、事例を通して考察し、実際の現場で必要となる知識及び対処方法等について修得することを目的とする。そのために、関連する企業をケースとして取り上げ、様々なビジネスフレームワークに基づいた分析や考察を、個人ワークおよびグループワークで行う。
2限	人間科学部 経営学科	公共サービス特論	松本茂樹	公共サービスは、市民の日々の生活を支えているが、政府・自治体の厳しい財政状況の中で見直され始めている。しかしながら、一方で少子高齢化、格差の拡大、甚大な災害等での重要性が再認識されている。 ①誰もが安心して暮らせる公平・公正な社会を作るため、公共サービスの役割を考えるのと同時に、市場化テストの展開や税金をつかうべきサービスであるか否か、コミュニティビジネス化出来ないかを探る。持続可能な公共サービスのイノベーションを考え、新しい公共サービスを提案する。 ②IoTの発達により、アプリを活用した新しい公共サービスへの試みが始まっている。ガバメント2.0の現状についてアメリカのオバマ政権の取り組みに学ぶ。 ③東日本大震災時以降の電力の在り方について、公共サービスとしての電力事業の在り方を議論する。
2限	人間科学部 人間心理学科	専門演習Ⅲ	佐藤広志 / 他	○卒業研究は、できるだけ、自分で調査・実験することが望ましい。 ●卒業研究に向けて、関心のあるテーマを選び、個人単位で文献を調べ発表する。 ●グループ単位で1つのテーマを定め、情報を集め分析し、結果報告を行う。 その後、個人単位で論文作成を行う（最終レポート）。 ●講義については、担当教員の専門分野から、ゼミ生の興味に合わせて実施する。
2限	保健医療学部 看護学科	基礎看護技術Ⅲ	蛭子 / 山口 / 神宮司	健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸問題を明らかにし、その解決に向けた確かな援助を提供するためのツールとしての看護過程(問題解決思考)の習得を目指す。具体的には、紙上事例をとりあげ、看護実践上の科学的根拠として用いられる代表的な看護理論を用いて看護過程を展開するトレーニングを実践する。

■3限

時限	学部・学科	科目名	担当者	授業概要
3限	人間科学部 経営学科	ファイナンス	浮田泉	営利法人、非営利法人を問わず、事業を運営する上において、経営財務についての知識を欠くことはできません。経営財務を学ぶためには、まず、基本的な会計処理を学ぶ必要があります。この講義は、個人商店を中心とした会計情報の作成および、株式会社の特徴を理解します。その上で、会計原則や関連法規、資金調達の手法や企業評価等のファイナンスの基礎を学習します。
3限	人間科学部 経営学科	ビジネス統計学	藤木清	昨今、ビジネスの現場では、統計の読み方、および統計から事実を読み取ることが求められる。この授業では記述統計的分析手法を中心に学習したのち、実際にEXCELなどを用いて、データのまとめ方、読み取り方を習得する。さらに、実際に経済・経営に関連する統計データを用いて分析する方法を習得する。
3限	人間科学部 経営学科	顧客満足論	松原茂仁	顧客満足について持続可能性を考慮した企業活動をCSR報告書をもとに事例から学びます。また、顧客の心をつかみTPOに応じて対応することや、単に良い商品・サービスを提供するだけではなく顧客の「問題」を解決することなど、マーケティングをもとに持続可能性について議論します。そして最後に、事例を中心に「顧客満足」のエッセンスをマスターしビジネスプランを発表してもらいます。
3限	人間科学部 人間心理学科	専門演習 I	太田学部長 / 他	2年次の専門演習では問題の探索と設定、情報の収集と分析、レポートの作成など、研究活動の基本となる諸段階を体験し、その重要点と過程について理解することをねらいとする。この専門演習Iでは関心を持つテーマの探索と設定、情報の収集と分析、結果の取りまとめと報告などについてグループワークを中心に進める。プレゼンテーションのポイントについても学習する。